

**【中学校社会科（歴史的分野）における活用案】**  
**第1・2学年「身近な地域の歴史」における活用について**

～基本的な考え方～

本案は、中学校学習指導要領社会科歴史的分野の目標(2)を受けて構成されており、教科書等を使って日本の歴史を学習した後、その時代に活躍した郷土の人物を学習することにより、歴史に対する認識を深めさせるため、「ひむか学」ホームページを活用する基本的な学習の流れを示している。主な目標は以下のとおりである。

- ・ 宮崎の先賢の業績（身近で具体的な事象）を通して、我が国の歴史に対する理解を深めさせる。
- ・ 宮崎の先賢の生き様を通して、郷土への愛着や関心を高める。

展開でとりあげたのは、各時代で取り扱える郷土の先賢の例である。したがって、各学校の地域的特色に応じて学習の流れを再構成することが望ましい。

場合によっては「郷土の人物を調べよう」等といったテーマで、選択社会科の授業を展開していくことも可能である。

学習の流れ		「ひむか学」ホームページの活用例	
		ページ	活用とねらい
		ひむか学の教材名	
導 入	<p>1 これまで学習してきたことを振り返り、その時代がどのような時代であったかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ここで取り扱う郷土の人物の業績を理解させる上で必要な時代背景を押さえる。</li> </ul>	ふるさとみやざきを愛した人々	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たくさんの人物の中から、本授業で取り上げる人物を見つけさせる。</li> </ul>
展 開	<p>2 この時代に生きた宮崎県の人物の業績を通して、もう一度日本の歴史を見つめていく。</p> <p>例</p> <p>(1) 伊東マンショ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヨーロッパ人との出会いと全国統一を学習した後</li> </ul> <p>(2) 上杉鷹山</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江戸時代の諸藩の改革を学習した後</li> </ul> <p>(3) 小村寿太郎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日露戦争について学習した後</li> </ul> <p>(4) 石井十次</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近代文化の形成について学習した後</li> </ul> <p>(5) 若山牧水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近代文化の形成について学習した後</li> </ul> <p>(6) 鳥原ツル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大正デモクラシーについて学習した後</li> </ul>	伊東マンショ  上杉鷹山  小村寿太郎  石井十次  若山牧水  鳥原ツル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近で具体的な郷土の人物の業績をとおして、その時代の特色等に対する理解を深めさせる。</li> <li>・ キリスト教と我が国の歴史との関係についての理解を深める。</li> <li>・ 江戸時代における藩政改革についての理解を深める。</li> <li>・ 当時の時代背景や日露戦争後の講和条約についての理解を深める。</li> <li>・ 当時の時代背景や震災・戦災孤児への児童福祉についての理解を深める。</li> <li>・ 近代文学の発展についての理解を深める。</li> <li>・ 女性解放運動の動きなどについての理解を深める。</li> </ul>
終 末	<p>3 くわしく調べてみたいことや新たな疑問を追究する。</p>	もっとくわしく知りたい人は(リンク集)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「もっとくわしく知りたい人は」において紹介されているリンク先の積極的な活用を図る。</li> </ul>